

## 佐賀市の豊かな自然

佐賀市の中南部は平野に農地が広がり、農業用水と生活用水を得るために水路が網の目のように張り巡らされています。これらの水辺は水生生物や野鳥など、多くの生き物が集まる場になっています。このような環境は泥上げや草の刈り取り等、人が管理をすることで保たれています。

北部は背振・天山山系に囲まれた山林地帯となっており、ダム湖や森林、渓流などの環境が見られます。南部の有明海に面した広大な干潟では、ムツゴロウやシチメンソウ、クロツラヘラサギなどの珍しい生き物を観察することができます。

## 水辺の生き物

本市には水田や水路、池沼など多様な水辺環境あり、それぞれの環境に適応した生き物たちを育んでいます。全国的に絶滅が心配されている貴重な生き物も、数多く生息しています。



アリアケスジシマドジョウ  
(環境省) 絶滅危惧ⅠB類  
(佐賀県) 絶滅危惧Ⅰ類種



ヒシモドキ  
(環境省) 絶滅危惧ⅠB類  
(佐賀県) 絶滅危惧Ⅱ類種



ベニイトトンボ  
(環境省) 準絶滅危惧

## 森の生き物

北部の森林地帯には渓流や湿原、起伏に富んだ山々など多様な環境があり、平野部とはまたちがった生き物が生息しています。



エビネ  
(環境省) 準絶滅危惧  
(佐賀県) 準絶滅危惧種



カジカガエル  
(佐賀県) 準絶滅危惧種



ミヤマアカネ  
(佐賀県) 準絶滅危惧種

## 有明海の生き物

渡り鳥の一大渡来地でもある有明海の干潟には、ここでしか見られない生き物が多数生息しており、全国的にも貴重な環境が保たれています。漁業も盛んで、特にのりの養殖が盛んです。



ムツゴロウ  
(環境省) 絶滅危惧 I B類  
(佐賀県) 準絶滅危惧種



シチメンソウ  
(環境省) 絶滅危惧 II 類  
(佐賀県) 準絶滅危惧種



シオマネキ  
(環境省) 絶滅危惧 II 類  
(佐賀県) 絶滅危惧 II 類種



クロツラヘラサギ  
(環境省) 絶滅危惧 I B類  
(佐賀県) 絶滅危惧 I 類種



ズグロカモメ  
(環境省) 絶滅危惧 II 類  
(佐賀県) 絶滅危惧 II 類種



ダイシャクシギ  
(佐賀県) 絶滅危惧 II 類種

## 白石原湿原（久保泉町大字下和泉）

白石原湿原は、生き物が住みやすい環境づくりを目的として平成13～14年度に整備をしました。現在、地元団体「白石原トンボ生せい会」などが湿原やその周辺環境の維持管理を行っています。

ここでは四季を通じてトンボや野鳥などたくさんの生き物を観察することができ、いこいの場として多くの方に親しまれています。



マガモ